

「臨床外科」 第30巻 総目次

1975年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数, () は号数を示す.

〔EDITORIAL〕

- Physical Signs に寄せて……………ト部美代志…415(4)
乳癌—最近の趨勢……………阿部 令彦…643(6)
脳卒中の外科について……………佐野 圭司…1527(12)

〔特 集〕

—手の外科—

- 手の新鮮外傷の初期治療……………諸橋 政樹…11(1)
手指骨骨折の治療……………星 秀 逸…19(1)
手指切断創の治療……………生田 義和…27(1)
手の外傷後変形の診断と治療
赤堀 治・高杉 仁……………37(1)
手の先天性奇形の扱い方
三浦 隆行・木野 義武……………45(1)
手の感染症……………南条 文昭…55(1)

—ショック治療の新しい考え方—

- ショックの輸血・輸液
—当直中に遭遇したとの仮定の下に
長谷川 博……………142(2)
ショックと抗生物質
—特にエンドトキシンショックに
関連して
由良 二郎・岡田 英也・勝井 修照
品川 長天・鈴木芳太郎・村 松 泰
柴田 清人……………153(2)

- ショック治療におけるステロイドの使用
赤木 正信・新田 雅国・庄 嶋 健
岩 木 潤・三隅 克毅・守 且 孝…161(2)
ショック肺の扱い方
山田 良平・鍋島 秀雄・杉 本 侃…169(2)
ショックと血液凝固……………隅田 幸男…175(2)
エンドトキシンショック……………早 坂 滉…183(2)
ショック治療の羅針盤……………佐藤 光男…191(2)

—閉塞性黄疸—

- 閉塞性黄疸を伴う肝内胆石の治療
久次 武晴・五十君裕玄……………297(3)
閉塞性黄疸と手術の Risk
羽生富士夫・高田 忠敬・浜野 恭一
中村 光司・高 崎 健・円田 泰彦…305(3)

閉塞性黄疸を伴う胆道癌の治療

中山 和道・松 永 章・小林 重矩…311(3)

閉塞性黄疸を伴う膵頭領域癌の治療

佐藤 寿雄・小山 研二……………319(3)

続発性胆管狭窄による閉塞性黄疸の対策

葛西 洋一・関口 定美・赤坂 嘉宣

金 田 守・佐々木英制……………327(3)

閉塞性黄疸を発現した急性化膿性胆管炎

の治療……………板谷 博之…335(3)

高度閉塞性黄疸の病態

菅原 克彦・河野 信博・白倉 徹哉

三 谷 進・岩 月 淳・石川 浩一…341(3)

—腹部外科の Physical Signs—

視診の教えるもの……………井 口 潔…417(4)

急性腹症の触診のコツ

秋田 八年・迫田 晃郎……………423(4)

腹部の抵抗と腫瘍

綾部 正大・西村 興亜・谷 田 真…427(4)

直腸診の重要性

大内 清太・西川 泰石・久保園善堂…433(4)

痛みの特徴……………内田耕太郎・本庄 一夫…439(4)

聴診から得られるもの……………石川 浩一…445(4)

—胃切除後にくるもの—その対策と治療—

胃切除後の Malabsorption

井 口 潔・友田 博次……………523(5)

胃切除後の下痢

榊 原 宣・小松崎 孜・矢端 正克…529(5)

ダンピング症候群

鈴木 快輔・木根淵光夫・島田 徹治

渡 辺 紘・成原健太郎……………533(5)

胃切除後の骨障害

武藤 輝一・小 山 真・松 木 久

福 田 稔……………541(5)

胃切除後の Ca 代謝……………藤田 拓男…547(5)

胃切除後の貧血

長尾 房大・山口 吉康・青木 照明…555(5)

—乳癌—最近の趨勢—

マンモグラフィー, ゼロラジオグラフィー,
超音波, サーモグラフィーによる診断

高橋 勇	645(6)
乳腺生検の病理—病理統計と境界病変の検討	
広田 映五・佐野 量造	653(6)
Stage I 乳癌と定型的乳房切断術	
井上 権治・岡崎 邦泰	662(6)
再発転移の治療	武田 清一 669(6)
根治術後の機能障害	久保 完治 677(6)
術後遠隔成績—特に手術術式の検討	
久野敬二郎・深見 敦夫・堀 雅晴	
大橋 一郎	685(6)
—手術と副損傷—	
胃手術における副損傷	
大森 幸夫・本田 一郎	791(7)
結腸手術における副損傷	
安富 正幸・多田 正安・原 満	795(7)
直腸手術における副損傷—特に直腸癌	
について—	
西 満正・大山 満・長野 稔一	
大塚 直純・金子 洋一	801(7)
腎臓手術における副損傷	井上 武夫 807(7)
甲状腺手術における副損傷	
宮川 信・降旗 力男・牧内 正夫	
川村 信之	811(7)
乳腺手術における副損傷	
阿部 令彦・榎本 耕治	821(7)
脳動脈瘤(直達)手術における副損傷	
相羽 正	825(7)
—消化管の創傷治癒—	
血管構築からみた吻合法の検討	
丸山 圭一・河井 敏幸・浅野 芳雄	
西村 昌幸・北島 政樹・石井 良治	
阿部 令彦	943(8)
抗張力を中心にしてながめた消化管	
創傷治癒	
林 四郎・市川 英幸・萩原 勉彦	
荻部 徳郎	953(8)
縫合法別にみた消化管創傷治癒	前谷 俊三 961(8)
異なる臓器間の吻合における創傷治癒	
食道と小腸	
井口 潔・杉町 圭蔵・八板 朗	
中村 輝久	967(8)
胆管・膵管と小腸	
佐藤 寿雄・高橋 渉・松野 正紀	975(8)
創傷治癒の生化学の進歩	毛利喜久男 983(8)
—縫合法—反省と再検討—	
腹壁の閉鎖縫合法	脇坂 順一 1079(9)

胸壁の閉鎖縫合法	陸川 容亮・大畑 正昭 1085(9)
皮膚縫合法—乳癌手術	
榎本 耕治・阿部 令彦	1089(9)
—頭 部	
植村 研一・牧野 博安	1093(9)
—頸 部	
原田 種一・松土 昭彦・伊藤 国彦	1097(9)
—顔 面	福田 修 1101(9)
血管縫合法	杉江 三郎 1107(9)
尿路縫合法	町田 豊平 1111(9)
腱縫合法	矢部 裕 1115(9)
神経縫合法	広谷 速人 1121(9)
最近の縫合材料の知見	秋山太一郎 1125(9)
—凍結外科—Cryosurgery—	
Cryosurgery とは—その成り立ちと応用—	
宇都宮譲二	1215(10)
脳神経外科における Cryosurgery の進歩	
六川 二郎・種子田 護	1218(10)
消化器領域における Endoscopic	
Cryosurgery	
城所 仵・山崎 忠光・長浜 徹	
横田 広夫	1225(10)
痔核に対する Cryosurgery の応用	
蔵本新太郎・藪田 宗彦・淵上 弘道	
浦田 隆弘・永井 清博・西谷亮一郎	
柳田 謙蔵・亀谷 寿彦	1232(10)
悪性腫瘍に対する Cryosurgery の応用	
—その適応と限界—	
小川伸一郎・金田 浩一・津屋 旭	
内田 正興・牛腸 広樹・宇都宮譲二	1237(10)
進行癌に対する Cryosurgery と動脈	
内注入化学療法の併用療法の検討	
三浦 健・石田 正統・灰田 公彦	
灰田 茂生	1244(10)
形成外科領域における Cryosurgery	
大塚 寿	1255(10)
—癌免疫と外科治療—	
癌の免疫療法の現状と展望	橘 武彦 1383(11)
癌患者の免疫状態	折田 薫三 1385(11)
術前術後からみた癌患者の免疫療法	
服部 孝雄・新本 稔・峠 哲哉	1393(11)
免疫療法の実際	
BCG による 癌免疫療法	吉崎 和幸 1401(11)
リンパ球移入による免疫療法	
—細胞性受動免疫療法—	三井 清文 1409(11)
いわゆる免疫化学療法—溶連菌	

製剤：ピシパニール、蛋白多糖体： PS-K、嫌気性菌：コリネバクテリウム— 小川 一誠……………1421(11)	
免疫監視療法による進行胃癌の治療 —放射線および抗癌剤による抗原 誘導とリンパ球移入を基礎に— 佐藤 一英・仁 尾 裕・中嶋 靖児 白 井 龍・戸塚 茂夫・真 木 実…1427(11)	
脳腫瘍に対する免疫療法…高倉 公朋…1435(11)	
—脳卒中の外科—	
救急治療の問題点—呼吸・血圧異常の 臨床的意義とその管理ならびに移送 金谷 春之……………1529(12)	
診断と手術適応—神経放射線の面より 水上 公宏……………1535(12)	
—脳循環動態の面より 伊藤善太郎……………1543(12)	
治療の進歩： 高血圧性脳内出血—大脳基底核部 出血を中心として 鈴木 二郎・奥平 欣伸・佐藤 智彦…1553(12)	
特発性脳内血腫……………北村 勝俊…1559(12)	
脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血 佐野 圭司……………1567(12)	
脳動静脈奇型によるクモ膜下出血 半 田 肇……………1577(12)	
クモ膜下出血後の正常圧水頭症 堀 江 武・牧野 博安……………1585(12)	
脳血管攣縮とその対策 千ヶ崎裕夫・宮岡 誠……………1593(12)	

〔カラーグラフ〕

臨床病理シリーズ： ＜30＞脾疾患の肉眼病理所見…三方 淳男…8(1)	
＜31＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説—I．非浸潤癌 広田 映五・佐野 量造……………144(2)	
＜32＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説—II．浸潤癌 広田 映五・佐野 量造……………284(3)	
＜33＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説— III．特殊型乳癌(1) 広田 映五・佐野 量造……………412(4)	
＜34＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説—IV．特殊型乳癌(2)	

広田 映五・佐野 量造……………520(5)	
＜35＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説— V．特殊型乳癌(3)・肉腫(1) 広田 映五・佐野 量造……………640(6)	
＜36＞乳腺悪性腫瘍の諸相 —手術材料の病理解説— VI．肉腫(2) 広田 映五・佐野 量造……………780(7)	
消化管内視鏡シリーズ： ＜1＞色素法 遠藤 光夫・鈴木 茂・田中三千雄 中江 遵義……………940(8)	
＜2＞内視鏡的乳頭括約筋切開術 相 馬 智……………1076(9)	
＜3＞Polypectomy と Hot Biopsy 武藤徹一郎……………1212(10)	
＜4＞内視鏡的膵・胆管造影法 高木 国夫・竹腰 隆男……………1376(11)	
大腸隆起性病変の微細表面形態 —アルシアンブルー染色と実体顕 微鏡の応用— 小坂知一郎・榊 原 宣・鈴木 博義 長 廻 紘・青 木 暁・小林 政義 矢端 正克・中江 遵義・矢沢 知海 竹本 忠良・中山 恒明……………1473(11)	
消化管内視鏡シリーズ： ＜5＞緊急内視鏡検査 —胃出血をめぐる— 平塚 秀雄・長谷川充輝・生沢 啓芳…1524(12)	

〔クリニカル・カンファレンス〕

ショック治療をどうするか 山本 修三・関口 忠男・海老根東雄 山岡 郁雄・桜井 健司・須藤 政彦…200(2)	
胃切除後障害をどうするか —早期ダンピング症候群と術後 吻合部潰瘍をめぐる— 渡部 洋三・大久保高明・青木 照明 榊 原 宣 (司会) 牧野 永城…562(5)	
妊娠期授乳期乳癌をどうするか 深見 敦夫・高 橋 勇・中居 光生 堀内 淳一 (司会) 阿部 令彦…969(6)	
腸管吻合をどうするか 鍋谷 欣市・秋 山 洋・出月 康夫 岩 佐 博 (司会) 四方 淳一…1132(9)	

〔座 談 会〕

手の外傷の扱い方

鈴木 勝己・室田 景久・玉 井 進
矢部 裕・広谷速人・(司会)山内裕雄…62(1)

医療事故を考える

浅 山 健・饗庭 忠男・林 正 秀
松峯 敬夫 (司会) 牧野 永城…450(4)

これからの創傷治癒研究

藤城 保男・中村 紀夫・高野 正博
渡辺 洋望 (司会) 石引 久弥…990(8)

卒後臨床研修を考える

—外科学会実態調査をめぐって—
牧野 永城・出月 康夫
熊谷 義也・(司会) 吉岡 昭正…1458(11)

〔臨 床 研 究〕

モルガニー孔ヘルニアについて

—本邦集計例よりみた年齢的特異性—
町田 清朗・西川 鼎二・岡野 英二…85(1)

アミノ酸輸液による代謝性アシドーシス

について—輸液剤の組成と投与例に
よる検討—

宮野 英範・五島 卓雄・永田 真敏…221(2)

胃集検発見胃癌の検討

岡島 邦雄・藤井 康宏・石 川 純
荒木京二郎・戸谷 完二・寺田 紘一
伊藤 国昭・花 房 伸・川西 瑞哉
坪 井 淳・安田 正幸・小坂 久史…227(2)

腹膜癒着の研究—走査電子顕微鏡

による観察—
斉藤波瑠夫・石井 道夫・綿 貫 喆…231(2)

閉塞性黄疸に併発する急性潰瘍の研究

—胃粘膜関門の解析を中心に—
玉熊 正悦・金山 知新・沖永 功太
石 山 賢・中野 春雄・鈴木 宏彰
碓 井 昌・和田 信昭・小泉 澄彦
菅原 克彦…367(3)

胆石症の外科的治療

—特に手術時期の検討について—
後藤 明彦・伊東 達次・岩堤 慶明
林 淳 治・岩島 康敏・鈴木 貞夫
鬼束 惇義・福田 甚三・安藤 喜公…373(3)

膵頭十二指腸切除術前後の管理

—胆汁ドレナージと経中心静脈高
カロリー輸液の併用について—
真島 吉也・窪田 博吉・樋口 道雄

和賀井和榮・小幡 五郎・大原 啓介
笠井 妥陵・宮 司 勝・青木 靖雄
足立 英雄・田中 寿一・橋場 永尚
渡部十九六…379(3)

成人輪状膵に対する考察

吉川 和彦・沈 敬 補・深水 昭
梅 山 馨…481(4)

胃切除後空腸潰瘍の経験

安 名 主・小 林 巖・畑山 善行
松下 昌光…585(5)

胸部食道癌のリンパ節転移に関する検討

富田 正雄・古賀 保範・白石満州男
阿部 治美・綾部 公懿・武富 勝郎
柴田紘一郎・三浦 敏夫・釘宮 敏定
調 函 治・辻 泰 邦・中 山 巖…593(5)

高カロリー輸液の実態—とくに鎖骨下

静脈穿刺法およびその合併症につ
いて—

奥野 匡宥・長山 正義・中尾 昭治
笠井 孝洋・紙野 建人・梅 山 馨…723(6)

空腸移植を併用した幽門側(BI法)

広範囲胃切除術…松林富士男…729(6)

食道離断術後における高カロリー輸液

長山 正義・笠井 孝洋・中尾 昭治
奥野 匡宥・紙野 建人・梅 山 馨…845(7)

重症筋無力症と胸腺の germinal center

—特にその陰性例に対する考察—
山 根 巖・荒 木 威・尾崎 修武
岩永 幸夫・長 健…853(7)

吻合部の臨床—術後成績と治療方針に

ついて—
戸塚 守夫・時田 捷司・石山 勇司
井村 勝之・近藤 益夫・早 坂 滉…859(7)

虫垂炎、特にリンパ濾胞腫大型

虫垂炎の手術適応
田中 忠良・下井 利重・水田 英司…865(7)

末梢循環障害を主訴とした膠原病

大 城 孟・向 井 清・洪 性 徳
阪本 俊一・杉立 彰夫・村上 文夫…1013(8)

大腸疾患の診断と治療方針

—特に大腸早期癌について—
中川原儀三・秋本 竜一・尾島 敏夫
上林 一夫・佐々木 正・高島 茂樹
木村 捷一・小山 文誉・渡辺 公男
宮崎 仁見・沢崎 邦広・宮崎 逸夫…1019(8)

白ろう病に関する研究—白ろう病患者に

対する β -pyridyl carbinal tartrate
 の効果について
 土生 久作・岩 肇・人羅 俊雄
 飯田 紀之・乾 松 司……………1205(8)
 ACD 保存血液による体外循環
 岡本 好史・松田 光彦・林 真
 西村 和典・渡 辺 裕……………1149(9)
 術後一過性に上昇する血清 amylase
 について—isoenzyme 分析の結果
 を中心として—
 池永 達雄・樋 上 駿・秋 山 洋
 林 幸 子・原田紀久子・北村 元仕……………1155(9)
 噴門部—食道移行部胃癌の臨床病理学的
 検討—
 山際 裕史・石原 明德・浜 崎 豊……………1161(9)
 胃・十二指腸潰瘍に対する迷切合併
 手術の成績
 松 木 久・新 田 洋・中村 康夫
 李 奎 鉉・野沢 晃一・奈良井省吾
 田近 良克・高桑 一喜・武藤 輝一……………1167(9)
 胆道系癌の術前術後における輸液管
 理の重要性
 後藤 洋一・長谷川正義・高杉 信男
 工藤 正純・手戸 一郎・小川勝比古
 田辺 文彦……………1173(9)
 小児そけいヘルニアの手術成績
 長 尾 桓・金子 信俊・金高 伸也
 水田 哲明・岩 月 淳・須 崎 巖
 腸胃動脈閉塞症における副血行路
 について
 大 内 博・水口 昇三・佐々木久雄……………1273(10)
 肝内胆石症の治療上の問題点
 —特に予後を左右する因子の検討—
 成末 允勇・岡島 邦雄・戸谷 拓二
 藤井 康宏・曾我部興一・荒木京二郎……………1279(10)
 慢性膵炎に対する膵腸吻合術後の
 膵機能の変化について
 田代 征記・中川 逸男・吉田 正樹
 村田 悦男・河野 通文・野田 健治
 山 本 勝・持永 瑞穂・横山 育三……………1287(10)
 術中ソルビトール加乳酸リンゲル投与の
 体液バランスに与える影響
 —高張性輸液の臨床的意義—
 滝野 善夫・芦田 りら・真木 博幸
 武田 純三・重松 俊之・天野道之助……………1293(10)
 ライナックマンモグラフィ—の

カラー変換について
 西井 憲一・江 原 功・日野 紘孝
 宮崎 幸俊・小山 弘二・丸 山 清
 本山 俊介・田口 光雄……………1477(11)
 先天性肥厚性幽門狭窄症
 —術後嘔吐を中心として—
 飯島 勝一・牧野 永城・千 哲 三……………1481(11)
 術後 20 年腹腔内遺残ガーゼ周辺物質
 に関する臨床的並びに実験的報告
 一戸 兵部・杉本 博洲・石川 惟愛
 佐藤 光永・秋葉 文正……………1485(11)
 間歇性跛行の手術療法
 塩野谷恵彦・平井 正文・河合 誠一……………1489(11)
 大動脈手術の成績と問題点
 田辺 達三……………1605(12)
 小腸原発肉腫—特にX線所見について—
 原口 義座・左近司光明・高橋 寿久・
 斉藤 慶一・若林 利重・鈴木 恒道
 ………………1611(12)

〔臨床報告〕

門脈圧亢進を呈した巨大肝囊腫の 1 例
 幕内 博康・青木 春夫・伊藤 隆雄
 須藤 政彦・茂木 正寿……………93(1)
 びまん性にみられた胆嚢 Papillomatous
 Cholesterosis の稀なる 1 例
 萩原 信宏・三品 寿雄・平尾 雅紀
 早坂 真一・佐藤富士夫……………99(1)
 稀な胸腔内気管支性囊腫の 1 例
 松 岡 潔・伊藤 保憲・溝淵 正行
 野村 武生・岩田 克美……………103(1)
 高度黄疸，重症糖尿病を合併した肝門
 部癌に対する高カロリー栄養輸液と
 Longmire 手術の著効例
 工藤 正純・後藤 洋一・高杉 信男
 手戸 一郎・長谷川正義……………109(1)
 胆嚢捻転症
 疋田 利樹・古川 力男・八木橋洋志
 福田 幸雄……………113(1)
 乳腺に発生した形質細胞腫の 1 例
 鈴 木 剛・後藤 明彦・宮本 亮一
 下川 邦泰・加藤 俊彦……………117(1)
 甲状腺 Adenocanthoma の 1 例
 原田 種一・西川 義彦・伊藤 国彦
 細田 泰弘・薬丸 一洋・向井万起男……………123(1)
 直腸カルチノイドとS字状結腸癌の

併存せる 1 症例		腸球菌性腹膜炎	
福 留 厚・井原悠紀夫・渡辺 千之		庄 達 夫・中島 和雄・山本 泰久	
新井 正美・武井 寛一・青木 幹雄		岡島 邦雄……………609 (5)	
仁平 博子……………127 (1)		尿管管臍瘻の 1 例	
末梢動脈瘤を反復せる Behçet 病の 1 例		岩 朝 昭・北村 宗生・清家 矩彦	
佐々木久雄・大 内 博・水口 昇三		谷上 安駿・原田 七夫・越智 友成…613 (5)	
九里 孝雄・大 原 到……………241 (2)		上腕切断肢再植の 2 例	
開腹創瘻痕内の異所性骨形成の 3 例		—再植における骨短縮の意義—	
竹 内 隆・栗 原 彰・宮野 陽介		井上 喬之・福富 経昌・小山 昱甫	
田 中 繁・阿部 重郎・坂田 道義		中村 光祐・橋中 保男・川中 俊明	
岸本 博之……………245 (2)		那須 享二・花川 志郎……………621 (5)	
急速に狭窄をきたした食道潰瘍の		直腸平滑筋肉腫の 3 例	
1 治験例		坂 井 博・渡辺 英夫・古川 良弥	
池田 祐雄・浜 田 稔・志賀 重之		古川富士弥・渡辺和三郎・手塚 隆好	
池田 栄一・荻田 征美・番場 敏行		大武 省三……………625 (5)	
佐々木迪郎・市川 健寛・井 林 淳…251 (2)		脈なし病の外科治療	
十二指腸良性腫瘍の 1 治験例		—炎症残存期の 1 例—	
徳 永 蔵・植木陽太郎・松 永 章		岡本 好史・松田 光彦・黄 秋 雄	
中山 和道・国崎 忠彦……………257 (2)		山中浩太郎・渡 辺 裕……………735 (6)	
消化管脂肪腫—結腸脂肪腫を中心として—		扁平上皮癌を主とした甲状腺癌の 2 例	
遠藤正三郎・佐藤 方紀・磯 本 徹		高嶋 成光・竹内 宣昭・原 浩 平	
山本 康久・仲 座 勇・松永 信弥		堀 堅 造・森脇 昭介・河野 恒文…739 (6)	
吉岡 一由・佐野 開三……………261 (2)		術後回復期に発症した急性胆のう炎の	
胃穹窿部に基を有し長期十二指腸に嵌頓		2 症例	
した胃粘膜下腫瘍の 1 例		大本武千代・田 中 聰・木村 穂積	
久 本 寛・米沢美枝子・牛島 康栄		目黒 文朗・中嶋 健博・戸田 完治	
佐藤 治良・大村 敏郎・石引 久弥		唐土 善郎・水取 悦生……………743 (6)	
中津 喬義・津 村 整・関 口 進…385 (3)		重症肝破裂を伴った肝後面下大静脈破裂	
膵嚢胞腺癌の 1 症例と文献的考察		の 1 手術治験例—本邦第 1 例—	
山 崎 晋・都築 俊治・阿部 令彦…391 (3)		高 見 博・伊藤 隆雄・前中 由己	
胆道内発育を示した肝細胞癌の 2 例と		森下 幹人・安藤 暢敏・影山 隆久	
その文献的考察		須藤 政彦……………749 (6)	
黒柳弥寿雄・沢田 誠之・秀村 立五		Insulinoma の 1 治験例	
青木 重孝・加 藤 久……………399 (3)		小林 重矩・上田征八郎・池田 明生	
左 Morgagni 孔ヘルニアの 1 例と		松 永 章・中山 和道・古賀 道弘	
本邦報告例の統計的観察		長田 英輔……………753 (6)	
松 岡 潔・伊藤 保憲・溝淵 正行		近親結婚家系に生じた若年者大腸癌の 1 例	
野村 武生・桑原 和則・仲宗根浩二		山際 裕史・岡林 義弘・多田 弘一	
河島 浩二・笠井 敏雄……………498 (4)		富田 一郎・清 水 武・竹内 藤吉	
Pilonidal Sinus 14 例の経験		上 島 亨……………759 (6)	
井原悠紀夫・福 留 厚・磯 山 徹		盲腸に発生した非特異性単純性滑瘍の 1 例	
渡辺 千之・白川 洋一・神谷喜八郎		加辺 純雄・大森 幸夫・中野喜久男	
新井 正美……………507 (4)		水野 幸一・田 中 昇……………763 (6)	
胃癌肺転移切除の 1 症例		回腸に発生した神経鞘腫の 1 例	
庄 野 洋・角田 悦男・楠瀬 賢三		松本 俊彦・高 垣 衛……………768 (6)	
露 口 勝・稲山 三治・越智 友成…605 (5)		肺過誤腫の 3 治験例	

陣内森之祐・倉岡 三郎・猪口 嘉三…871(7)

総胆管良性腫瘍の1例

友田 信之・小林 重矩・中山 和道

谷 村 晃……………875(7)

脂肪肉腫の4例

大道 吉男・原田 七夫・斎藤 勝彦

森本 忠興・田中 雅祐・伊井 邦雄…879(7)

Behçet 症候群にみられた消化管穿孔

浜田 国弘・西本 政功・上原 從正

板谷 博之……………885(7)

直腸平滑筋腫の1例

佐々木公一・佐藤鍊一郎・高 橋 浩…889(7)

巨大な虫垂粘膜嚢腫の1例

松本 公毅・和田和代史・大 沢 直

板谷 博之……………893(7)

3年10ヵ月観察された胃潰瘍切除後

残胃ポリープ様癌の1例

山際 裕史・大西 長年・国島 陸意…897(7)

稀有な急性腹症の1例：胃野兔病

一本邦第1例—

一戸 兵部・一戸るみ子・吉岡 岑生

杉本 博洲・石川 惟愛・佐藤 光永…901(7)

単発性小肝癌(直径2cm)破裂による

腹腔内大出血の1例

神谷喜八郎・白川 洋一・三条 健昌

新井 正美・河 野 保・青木 幹雄…907(7)

消化管カルチノイドの2例—直腸ならびに

早期胃癌と溶血性貧血を伴った

十二指腸カルチノイド—

太田 陽一・富川 正樹・泊 康 男

瀬尾 勉夫・万見新太郎・高 田 孝

北川 正信・村田 敏夫……………913(7)

乳房 Paget 病の4例

渋谷 智顕・堀 部 廉・高井 清一

三 輪 勝・伊藤 隆夫・名 和 正

田中 千凱・島 田 脩・加地 秀樹…919(7)

若年者に発生した巨大膝窩動脈瘤

の1治験例

石 丸 新・松延 正之・本 郷 勉

古川 欽一・仲本 嘉見……………925(7)

巨大な肝嚢胞の1治験例

森本 忠興・宇山 幸久・岡田 浩司

吉 田 冲・原田 邦彦・武 市 脩…1041(8)

最近経験せる膝石症2例について

井ノ口健也・野 口 孝・黒田 弘之

細野 英之・川原田嘉文・伊東 敬之…1045(8)

空腸異所性腫を伴う十二指腸嚢腫の1例

有本 重也・勝田 仁康・川嶋 寛昭

田伏 俊作・高 山 勇・上山 庸弘

上山 健弘・西川 正一・内藤 行雄

永井 清和・石本 英夫……………1049(8)

術後右結腸憩室標本の粘膜下

リンパ濾胞組織所見

村上 博因・宗 岡 熙・岡 本 勲

草場威稜夫……………1057(8)

脳膿瘍20例の検討

吉本 尚規・梶 川 博・井口 孝彦

鯉川 哲二・宮崎 正毅・島 健

日比野弘道・石 川 進・魚 住 徹

児 玉 求・土肥 雪彦……………1061(8)

褐色細胞腫の1治験例

古 賀 淳・北野亀三郎・佐藤 和洋

麻生 哲郎・井 上 強・大多和泰憲

山本 洋南……………1183(9)

虫垂癌の1例—井戸 俊夫・西岡 健次…1189(9)

盲腸に瘢痕性狭窄をきたした日本住

血吸虫症の1例

更科 広実・樋口 道雄・古山 信明

佐藤 英樹・千見寺 勝・橘川 征夫

小林 裕夫・奥井 勝二・野本 一夫

狩 谷 淳・林 学・山田 公三

西 沢 護・小林 茂雄……………1193(9)

直腸カルチノイド、胃癌、胃潰瘍を

合併した1症例

中 村 達・尾形 佳郎・島 伸 吾

秋里 和夫・林 郁 夫・梅 園 明

渡辺陽之助・出口 修宏・有森 正樹…1199(9)

胸腺原発カルチノイドの1例

小助川克次・大沢 幹夫・臼田多佳夫

飯塚 邦夫・山添 信幸・原田 昌範

大 條 浩……………1299(10)

虫垂カルチノイドの1例

金児 千秋・浜崎聡一郎・田 中 誠…1305(10)

直腸カルチノイド

佐々木英制・水谷 哲夫・近 藤 博

久米 祥彦・栗 林 弘・尾崎 鉄也…1309(10)

乳腺線細網肉腫の1例および

本邦報告例の統計的観察

大 室 僣・岡本 英三・桑田 圭司

菅原 一郎・豊坂 昭弘・大橋 秀一

京 明 雄・鈴木栄太郎・劉 燦太郎

西浦 徳明・岡空 達夫……………1315(10)

脈絡膜転移を疑われた乳癌の経験

高柳 和江・松村 長生・太田 憲一

古味 信彦・松村香代子……………1321(10)

肉腫様組織像を伴った食道癌（いわゆる

癌偽肉腫）の1手術例

米 沢 健・細井 英雄・池田 義雄

小 林 衛・池田 典次・永岡 貞男……………1327(10)

食餌性イレウスの2例

里 見 昭・畑尾 正彦・徳 永 剛

岡 村 孝・高橋 勝三……………1333(10)

腸捻転を伴える Chilaiiditi 症候群の

1手術経験例

鈴木 康紀・土 田 博・千葉 宏俊

津島 恵輔・笹村 雅人・山形 尚正

三上 俊郎……………1337(10)

回盲部消化管重複症の2例

林 雅 造・篠田 正昭・藤沢 健夫

能見伸八郎・村上 治朗……………1343(10)

種々形態を異にした迷入腺の

5例について

遠藤正三郎・磯 本 徹・山本 康久

佐藤 万紀・小堀 勉夫・伊藤 慈秀

佐野 開三……………1349(10)

1週間後に覚醒しえた急性眠剤中毒

の1例—腹膜灌流の応用—

鹿野 奉昭・本田 義信・勝屋 弘忠……………1355(10)

外傷性振頭に対する定位脳手術の経験

大久保忠男・郭 隆 璨……………1359(10)

非定型的末梢性前大脳動脈瘤の1例

石 井 喬・土田 富穂・早 川 勲……………1363(10)

乳頭膨大部癌に他臓器癌を重複した2症例

工藤 正純・後藤 洋一・田辺 文彦

小川勝比古・高杉 信男・手戸 一郎

長谷川正義・伊藤 哲夫……………1495(11)

胃に原発した腺扁平上皮癌について

角田 秀雄・泉山 隆男・菊 池 晃

西 田 伝・川口 忠彦……………1499(11)

心筋硬塞に合併した心室中隔穿孔の閉鎖

および左室癌切除の1治療例

小原 邦義・酒 井 章・島倉 唯行・

遠藤 真弘・林 久 恵・今野 草二・

福沢 利明・石沢 慶春……………1505(11)

特発性小脳内血腫の1例

井沢 正博・間中 信也・名和田 宏……………1511(11)

21歳女性に発生せる肝悪性血管内

皮腫の1症例

渡辺 千之・小嶋 心一・新井 正美

広田喜代市・青木 幹雄・菅原 克彦……………1623(12)

石灰沈着を伴った膵嚢胞腺腫の

1手術治療例

大町彰二郎・安部 宗顕・古沢元之助

原 泰 寛・堀江 昭夫・田 中 誠……………1629(12)

腸間膜線維肉腫の1例

広瀬 定徳・中村 雅夫・杉本 久之……………1633(12)

食道の原発性悪性黒色腫の1例

岡 田 清・星子 哲彦・武田 仁良

猪口 嘉三・米 湊 徹……………1617(12)

Hirschsprung 病を思わせた先天性結腸

狭窄症の1治療例

今泉 了彦・大森 協司・芳賀 駿介

保 科 清・吉田 栄子……………1637(12)

〔手術手技〕

経皮的胆管ドレナージ手技

—新しい器具の開発を中心に—

高田 忠敬・小林誠一郎・内田 泰彦

福島 靖彦・羽生富士夫……………717(6)

〔境界領域〕

直腸肛門疾患と白血病について

—3症例と全国30症例の検討から—

守 山 稔・竹 馬 浩……………1031(8)

〔実 験〕

犬胎児を用いた子宮内手術

—先天性小腸閉鎖症の実験的研究—

古賀 禧子・池田 恵一・林 田 裕……………599(5)

〔手術の周辺〕

手術用不織布マスクの研究

—U. S. Military Specification

による検討—

古橋 正吉・宮前 卓之・上田伊佐雄……………357(3)

持続陽圧呼吸 PEEP および間歇強制換気

IMV による呼吸管理

後藤 幸生・宮野 英範・永田 真敏……………489(4)

〔薬 剤〕

術後栄養管理とガラランダーゼの使用経験

飛永 晃二・三浦 敏夫・内田 雄三

松尾 正彦・石井 俊世・千々岩秀夫

村上 義臣・石丸 宏哉・辻 泰 邦……………269(2)

脳神経外科領域における術前術後の

Hydrocortisone 使用と副腎皮質
機能抑制について

齊藤 義一・喜種 善典・高橋 伸明
高見 政美……………1035(8)

〔外科医のための生理学〕

食道—運動の生理……………有森 正樹…………77(1)
胃—分泌の生理……………青木 照明…………353(3)
胃—運動の生理……………田中 直樹…………473(4)
胃—消化吸収の生理……………渡部 洋三…………581(5)
十二指腸・小腸—運動の生理
伊藤 漸・竹内 真人・相沢 勇…………713(6)
十二指腸・小腸—分泌の生理
土屋 周二・福島 恒男……………841(7)
十二指腸・小腸—消化吸収の生理
長嶺 慎一……………1009(8)
大腸の生理……………吉雄 敏文…………1145(9)
肛門の生理……………隅越 幸男…………1269(10)
肝臓の生理……………小沢 和恵・山岡 義生…………1449(11)
胆嚢・胆道の生理……………梅 園 明…………1601(12)

〔グラフ〕

回盲部悪性リンパ腫の血管造影像
岡崎 正敏・高杉 敏彦・牛尾 恭輔
萩原 健一・松江 寛人・笹川 道三
土井 偉誉・山田 達哉・市川平三郎…………287(3)
肝機能障害時におけるサーモグラムと
エコーグラム
佐藤 次良・石引 久弥・中津 喬義
津 村 整・久本 寛・大村 敏郎
牛島 康栄・青木 道夫・白木 滋光
八十島久子……………783(7)

〔Pros & Cons〕

「空腸移植を併用した幽門側(BI法)
広範囲胃切除術」を読んで
榎原 宣・小林 政美・市川 武…………1002(8)
「空腸移植を併用した幽門側(BI法)
広範囲切除術」に関するわれわれ
の考え方……………松林富士男…………1453(11)

〔トピックス〕

市販器具の改良によるイレオストミー用
器具の製作および使用法…………中込 義昌…………476(4)
乳癌に関する日米合同研究の成果
山本 浩・七沢 武・石川 七郎
阿部 令彦……………709(6)

欧米における Cryosurgery の動向

隅田 幸男……………1265(10)

〔外科医の工夫〕

爪嵌入症の根治療法……………田内 力…………82(1)

〔資料〕

乳癌取扱い規約改正の要点……………泉 雄 勝…………693(6)

〔書評〕

真下 啓明・三橋 進 編集「耐性
と化学療法」……………市川 篤二…………60(1)
池田 茂人著「Atlas of Flexible
Bronchofiberscopy」……………市川 義博…………81(1)
並木 正義編集「消化管内視鏡診断学
大系2—食道」……………赤倉 一郎…………97(1)
福田 保監修 渋沢喜守雄・城所 仂
堀 原 一編集「重症低反応性ショック」
……………恩 地 裕…………152(2)
新井達太著「心疾患の診断と手術」
……………三枝 正裕…………255(2)
竹本忠良・川井啓市編集「色素による
消化管内視鏡検査法」……………田中 弘道…………268(2)
沖野 遙・堀原 一・本田西男編集
「血流測定」……………入 沢 宏…………274(2)
D. M. Behrendt, W. G. Austen 著
森本和大・鰐淵康彦・尾本良三訳「心臓
外科チームのための患者管理の実際
Patient Care in Cardiac Surgery」
……………曲直部寿夫…………303(3)
長尾房大編著「実地医家・研修医のための
消化器外科診療の実際」……………葛西 洋一…………303(3)
常岡健二・城所 仂・竹本忠良編集「十二指
腸・小腸疾患の内視鏡診断」
……………佐藤 一郎…………378(3)
D. M. Behrendt, W. G. Austen 著
森本和大・鰐淵康彦・尾本良三訳「心臓
外科チームのための患者管理の実際
Patient Care in Cardiac Surgery」
……………浅野 献…………467(4)
H. Feneis 著・山田英智監訳
石川春律・広沢一成訳「図解・解剖学事
典 Anatomische Bildwörterbuch der
internationalen Nomenklatur」
……………金子丑之助…………467(4)
岩崎洋治編集

- 「Cadaveric Renal Transplantation」
園田 孝夫...468(4)
- 常岡 健二・城 所 侑・竹本 忠良編集
 「十二指腸・小腸疾患の内視鏡診断」
松永 藤雄...553(5)
- 長尾 房大編著
 「実地医家・研修医のための消化器
 外科診療の実際」.....林 四 郎...561(5)
- 三井記念病院編 (代表 大谷五良)
 「臨床医のための腹部X線造影の実際」
長尾 房大...603(5)
- R. A. Willis 著 「The Spread of Tumours
 in the Human Body (第3版)」
小川 勝士...675(6)
- 冲野 遙・堀 原 一・本田西男編集
 「血流測定」.....渥美 和彦...772(6)
- 三島 好雄著 「血管外科入門」
稲 田 潔...819(7)
- 阿久津 哲造著 「Artificial Heart
 —Total Replacement and Partial
 Support」.....木本 誠二...838(7)
- 問田 直幹・内菌 耕二編集
 「新生理学 全2巻 一改訂第4版一」
阿部 正和...839(7)
- 長 廻 紘・竹本 忠良著
 「大腸疾患アトラス」.....阿部 治弥...864(7)
- W. A. Nolen 著 横山邦幸訳
 「外科医の誕生 The Making of a
 Surgeon」.....出月 康夫...1004(8)
- 阿久津哲造著 「Artificial Heart
 —Total Replacement and Partial
 Support」.....曲直部寿夫...1005(8)
- 長 廻 紘・竹本 忠良著
 「大腸疾患アトラス」.....白壁 彦夫...1006(8)
- 高橋 睦正著 「Atlas of Vertebral
 Angiography」.....原 一 夫...1023(8)
- Peter F. Jones 著 「Emergency Abdominal
 Surgery; In Infancy, Chidhood &
 Adult Life」.....阿曾 弘一...1096(9)
- Arnold Kappert 著 厚美 利行・
 本田由美子・伊藤 幸郎訳
 「末梢血管病の診断 Diagnosis of
 peripheral vascular diseases/日本版」
上田 英雄...1172(9)
- C. W. Needham 著 半田 譲二訳
 「症候よりみた脳神経外科学 Neurosurgical
 Syndromes of the Brain」
喜多村孝一...1187(9)
- G. B. Greenfield & S. J. Cooper 著
 田 坂 皓監訳・秋貞 雅祥訳
 「X線撮影法のポイント A Manual of
 Radiographic Positioning」
西岡 清春...1261(10)
- 芦沢 真六・春日井達造編集
 「内視鏡総論—消化管内視鏡診断学
 大系 1」.....吉 利 和...1261(10)
- 長 廻 紘・竹本 忠良著
 「大腸疾患アトラス」.....川井 啓市...1262(10)
- 永 井 純・西岡 清春著
 「腹部単純X線診断」.....四方 淳一...1263(10)
- 阿久津哲造著 「Artificial Heart
 —Total Replacement and Partial
 Support」.....渥美 和彦...1278(10)
- 丸山 雅一著 「大腸の癌・ポリープの
 X線診断と病理」.....宇都宮譲二...1304(10)
- 三島 好雄著 「血管外科入門」
杉江 三郎...1325(10)
- 川井 啓市編集 「胃—その形態と機能」
岡部 治弥...1336(10)
- 佐野 圭司・半 田 肇編集
 「脳神経手術管理法」.....都留美都雄...1341(10)
- 半 田 肇編集 「Microneurosurgery」
北村 勝俊...1367(10)
- 畔柳武雄・大高裕一・松橋 直編集「免疫学から
 みた腫瘍—臨床免疫学叢書 10」
鈴 木 鑑...1391(11)
- 福見秀雄編集「病院内感染—その原因と
 予防」.....實川佐太郎...1399(11)
- G. B. Greenfield & S. J. Cooper 著 田坂皓監訳・
 秋貞雅祥訳「X線撮影法のポイント—A Manual
 of Radiographic Positioning」
坪郷 義崇...1443(11)
- 永井 純・西岡清春著「腹部単純X線診断」
藤井 正道...1443(11)
- 石川浩一・草間 悟監訳「クリストファー
 外科学」.....水戸 勉郎...1444(11)
- 井口 潔・草場 昭著「Atlas of Applied
 Vascular Surgery」.....石川 浩一...1445(11)
- 丸山雅一著「大腸の癌・ポリープのX線診断と
 病理」.....陣内傳之助...1509(11)
- 鈴木二郎著「脳卒中の外科」...西 本 詮...1600(12)